

令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年8月25日

評価者	市民防災部長 永野 英樹
-----	--------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	6-(1) 産業振興	施策の方針	6-(1)-②商工業振興の充実
目標とするまちの姿	<p>中小企業の経営革新や経営基盤の強化が図られるとともに、市内企業の事業拡大や新たな産業の立地等により、産業が活性化し、雇用の創出が図られています。 また、新たな魅力の創出による商店街の活性化、伝統的工芸品の保護・育成が図られています。</p>			
主な取組	<p>(1) 地域の特性を生かした商店街の活性化 商店街が「物販・サービスの場」としてだけでなく、「まちの顔」、「地域コミュニティの場」として賑わうよう、地域の特性を生かした商店街づくりを支援します。</p> <p>(2) 中小企業の支援 事業者や商工団体との連携を強化するとともに、経営相談や融資・補助制度の充実、受注機会の拡大を図ることで、中小企業の創業、経営安定、事業拡大、経営革新を支援します。</p> <p>(3) 新たな産業の誘致等による雇用の創出やイノベーションの誘発 市内企業の事業拡大を支援するとともに、深沢地域整備事業や低未利用地の公的不動産の活用を中心に新規成長産業をはじめとする企業の誘致や、コワーキングスペース等の整備によるテレワーク環境の充実により、市内での雇用の創出やイノベーションの誘発を図ります。</p> <p>(4) 伝統工芸の伝承及び事業活動の支援 市内で唯一の伝統的工芸品である鎌倉彫の保護・育成を目的とした事業活動や、販売促進に向けた支援を行います。</p>			

1 成果指標

成果指標①	市内事業所における従業者数					出典	経済センサス活動調査		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
平成28年	人	目標値	69,000	69,200	69,400	69,600	69,800	70,000	令和3年度実績値は令和3年経済センサス活動調査速報値(令和4年5月公表)
68,800		実績値	未実施	66,970					
		達成率	—	96.8%					
成果指標②	市内の事業所数					出典	経済センサス活動調査		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
平成28年	事業所	目標値	7,250	7,270	7,290	7,310	7,330	7,350	令和3年度実績値は令和3年経済センサス活動調査速報値(令和4年5月公表)
7,226		実績値	未実施	7,050					
		達成率	—	97.0%					
成果指標③	身近な商店街において、便利で魅力的な買い物ができると思う市民の割合					出典	市民アンケート調査		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和2年1月	%	目標値	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	55.0	
49.1		実績値	未実施	53.0					
		達成率	—	103.9%					

2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	1,679,990	362,067				
人件費	40,132	37,500				
総事業費	1,720,122	399,567				

3 担当部評価

(1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

市民防災部

成果指標①及び②については、平成28年経済センサス活動調査の結果をもとに初期値を設定し、そこからの推計を指標としている。
 しかしながら、令和元年経済センサス基礎調査において、法人番号を活用したこれまでとは異なる調査方法がとられており、現在公表を待っている令和3年経済センサス活動調査についても、同様の調査方法となることから、経済センサスの時系列比較を行うことができなくなっている。
 なお、令和4年度に令和3年経済センサス活動調査の結果が公表されることから、当該結果をもとに新たな成果指標を設定する。

(2)今後の方向性

市民防災部

目標とするまちの姿の実現に向け、商工業振興計画を策定するとともに、引き続き中小企業等に対しては、中小企業融資制度、各種補助制度などにより支援し、商店街に対しては、共同施設整備、商店街活性化のための事業に対する補助制度などにより、支援を行っていく。
 また、市内で唯一の伝統的工芸品である鎌倉彫については、講習会や体験教室などの支援や、販路拡大への支援を行っていく。
 これらにより、中小企業の経営革新や経営基盤の強化、市内企業の事業拡大や新たな産業の立地等による産業の活性化及び雇用の創出を目指すとともに、新たな魅力の創出による商店街の活性化、伝統的工芸品の保護・育成を図っていく。

(3)施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	市民-19	商工運営事業		13	1,517	1,530	改善・変更	A	改善・変更
	市民-20	中小企業支援事業		312,268	9,428	321,696	現状維持	S	現状維持
	市民-21	商工会議所助成事業		14,314	759	15,073	現状維持	S	現状維持
	市民-22	商店街振興事業		21,062	7,587	28,649	現状維持	S	現状維持
重	市民-23	商工業振興事業		10,226	15,174	25,400	拡充	S	拡充
	市民-24	公衆浴場助成事業		289	759	1,048	現状維持	A	現状維持
	市民-25	伝統鎌倉彫振興事業		3,895	2,276	6,171	現状維持	A	現状維持

(4)貢献度に関する分析

市民防災部

市民-20～23については、通常支援策と並行して、コロナ禍における各団体・企業・創業者等への支援策を実施することができ、施策の方針の達成に十分貢献した。
 一方で、市民-19については、商工業振興計画の策定を延期、姉妹都市物産展を中止にせざるを得ない状況であったが、延期・中止はコロナ禍の影響によるものであり、引き続き取り組みは継続しているため、貢献度はAとした。
 また、市民-24は、既存の公衆浴場数の維持ができていた点、また市民-25は出荷数は減少傾向にあるものの、認知度向上・販路拡大のための民間企業との連携など新たな取り組みを行っていることから、貢献度はAとした。